

保護者等からの事業所評価の集計結果

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	でらいとわーくジュニアから保護者様へ
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	11	3	1		法律に沿ったスペースを確保しております。また、学習室を今年から設置致しました。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	14		1		法律上定められた人数を配置しております。専門性を身に付ける為、職員は可能な限り研修に参加しています。
	③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	7	2		建物の構造上、スロープや手すりの設置ができない分、職員が出来る限りの対応をしております。
適切な 支援の 提供	④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されているか (*1)が作成されているか	12	2	1	・よく子供のことを見て、わかっているのでも安心です。	利用者の退所後に、毎日ミーティングを行い、支援の中心課題を抽出し、児童発達支援管理責任者が個別支援計画に反映させています。
	⑤ 活動プログラム(*2)が固定化しないよう工夫されているか	14	1		・コロナの関係で大変な中、工夫してくださっています。	新型コロナウイルスの影響で、課外(外出)プログラムが極端に減った分、教室内で可能な限りの工夫を行っています。
	⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	10	4		児童クラブや児童館との交流はありませんが、でらいとわーくグループの【就労移行支援事業所】との交流を年数回、行っています。
保護者 への 説明 等	⑦ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12	2	1	・こちらの先生方の対応は、いつも丁寧でもとも感じが良いと思います。	契約前に必ず説明はさせていただいております。また、支援については、随時、説明をさせていただいております。
	⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達支援の状況や課題について共通理解ができているか	12	3		・もう長いお付き合いになりますが、いつも子供の成長したところや状況等、ノートやメールや電話で伝えてくださいます。	サービス提供記録を中心に必ず行っています。補足が必要な際は、手紙やメール、電話等での連絡にて対応しています。
	⑨ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	11	4		・必要な時はきちんと都合に合わせて面談の時間をつくってくださいます。	急を要する保護者様を中心に面談は年間を通じて行っております。また、保護者様を対象とした専門のカウンセラーを設置し、相談室を開設しています。
	⑩ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		6	8		事業所として課題の一つと捉えております。
	⑪ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制が整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10	5		・何かある時は、すぐにお手紙がきて、状況を説明してくれるので、わかりやすいです。	契約時に契約書内に記載されている内容を必ず説明をしております。また、大田区のオンブズマン制度についても教室内に案内を貼りだしております。
	⑫ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10	4	1	・子供の様子がよくわかるように、記入してください。	子供と保護者をつなぐ役割として、必ず双方の意見を確認のうえで情報伝達は行っております。
	⑬ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	15			・細かなところまでお手紙でご案内をだしていただき、切手を考えると申し訳ないくらいです。	定期的に瓦版『じゅにあ通信』を発行しています。また、課外プログラムの案内は別途、手紙を配布しております。自己評価の結果に関してもホームページに掲載している旨をご案内しています。
⑭ 個人情報の取扱いに十分注意されているか	14	1		・とても注意されていると思います。	事務所内の鍵付きの棚で個人情報等は徹底して管理を行っております。	
非常時 等の 対応	⑮ 緊急対応時マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか	14	1		・その都度に、詳しいお手紙が届きます。	契約時に必ず説明をしております。また、行政側からの通達に関しても、ご案内をだしております。
	⑯ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか(*3)	14	1		・きちんとしてくださっています。	年2回(春・秋)、実施しております。実際の避難所へ利用者連れれていくことで意識を高めてもらっています。また、避難場所についての案内は地図と共に保護者へ配布しています。
満足 度	⑰ 子どもは通所を楽しみにしているか	13	2		・長く通っていますが、飽きることなくまだまだ楽しく通っています。癒しの場所でもあります。	主役は利用者である子供達であることを忘れることなく、今後も工夫していきます。
	⑱ 事業所の支援に満足しているか	13	1	1	・とても安定した生活が送れるようになり、小さなことでもご連絡をくださりいつも助かります。 ・親子共に、でらいとさんに出会えて本当に良かったです。感謝の気持ちでいっぱいです。	力不足の面は否めませんが、全ての利用者(子供・保護者双方)が満足いただけるように、今後も努力をしていきます。

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質の向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供するうえでの留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動こと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせる実施されることが想定されている。

\*3 毎年、春と秋の2回、訓練を実施しております。春は一次避難場所(蒲田小学校)、秋は二次避難場所(新宿小学校)へお子様達を実際に連れて行くことで、意識を高めております。